

平成 28 年度 上越市 家庭科部 活動報告

部長 品田やよい

1 研究主題

児童生徒が生活の自立を目指し、進んで実践する態度をはぐくむ支援の工夫

2 研究の概要

上越市は小・中学校合同で教育研究会を組織し、家庭科部では小学校と中学校が隔年で授業を公開、研修している。今年度は小学校の公開で、授業公開に向け小委員で指導案検討を行った後、食育部との合同授業参観、協議会を実施した。また 8 月には新潟県家庭科教育研究会主催の小中高合同研究会に共催として参加、会員が発表、参加者は研修を深めると共に運営面も支援した。

3 研究の実際

(1) 小中高合同研究会 平成 28 年 8 月 8 日 (月) 会場：高陽荘 (上越市西城町)

① 研究主題：小・中・高の関連を図る家庭科教育～生きる力を育む、小・中・高の家庭科の取組～

② 研究発表

◇発表者：上越教育大学附属小学校 伊東良枝 教諭 題：子どもの日常に息づく活動～「ミラクル小麦」の実践を通して～

上越市立城東中学校 大野洋子 教諭 題：自己の考えをもち他者とともに考えを
発展させていく活動の工夫～実感を食生活の実践につなげる「学び合う授業」～
新潟県立柏崎工業高等学校 星野千春 教諭 (会員外) 題：栄養成分表示を意識し
た食品の選び方～生徒の気づきを大切に、実践へつなげる授業～

◇指導者：新潟県立義務教育課 福田愛日 指導主事
新潟県立教育センター 櫻井直子 指導主事

③ 記念講演

◇講師 上越教育大学 光永伸一郎 教授 ◇演題 発酵の町 上越で『和食』を学ぶ

(2) 授業公開 平成 28 年 11 月 11 日 (水)

① 授業者 上越市立宝田小学校 炭谷倫子 教諭、同・名立中学校在籍 宇田栄子 栄養教諭

② 題材名 「食べて元気！地域も元気！地産地消を生かした料理を作ろう！」

③ 本時のねらい 総合で学習してきた名立区の特産物である梅を使った主菜を考える。

④ 展開

- ・「ご飯とみそ汁に合う梅料理を考えよう」という課題の下、栄養教諭から給食の献立の栄養バランスについて話を聞いた。
- ・各グループで「梅料理献立」を話し合い、そこで考えた主菜を紹介し合った。総合で学習してきた梅の活用や親子活動で実際に作った梅料理を参考に、各グループから様々な献立となぜそれを選んだのか、各自の思いや理由を発表していた。



⑤ 授業の成果と課題 (研究協議会より)

家庭科と総合との横断的な取組による実践で、これまでの学習経験を活かした課題解決学習の提案であった。聞く・書く・話すなどの言語力が高く、課題に対する話し合いや発表が充実していた。日頃からの丁寧な取組が課題解決の場面に生きる。小中の連携が求められているが、食分野での連携をどのようにしたらよいか迷う。今後、各学校間での実践例の積み上げとその共有が望まれる。

4 成果と課題

昨年度に続き、食生活の分野での研修であった。県下 90 名弱の小中高等学校教職員が一堂に会した合同研修では、各校の発表や校種間での意見交換ができ有意義であった。小学校の授業公開は見応えと提案性があり良い授業であった。研修成果を生かし、自らの授業改善に臨むとともに、児童生徒一人一人の自立とよりよい生活の実現をめざして、さらに実践を積み重ねていく。